

2011/12 Weekly Bulletin



国際ロータリー 第2790地区 第3分区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2,339 回 例会 2012 年 1 月 18 日 (水) SAA / 齋藤 会長 会報担当: 万崎 会員
 例会場: 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

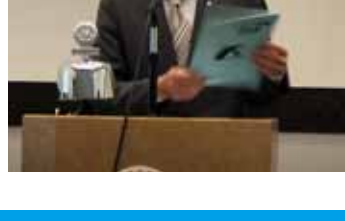
- ☆ 点 鐘 市原 RC 会長 齋藤 榮志 ☆ ソング 我等の生業
- ☆ お客様 江森 史郎 様

会長挨拶 市原 RC 会長 齋藤 榮志



今月はロータリー理解推進月間です。ロータリー理解推進月間とは「会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーの事をよく知ってもらう為のプログラムを実施する月間」となっています。本年度の山田修平ガバナーも「先ずロータリーに精通してください」とおっしゃっています。とは言っても私を含めてロータリー経験の浅い者にとっては我クラブの諸先輩方のようにロータリーに精通することは一朝一夕には出来ません。手続要覧を読んでもそう簡単には頭の中には入っては来ません。然しながら幸いにも我クラブは多くの経験豊富な先輩に恵まれております。これを活用しない手はありません。例会の時、委員会等の炉辺会談の時、諸先輩方とロータリーの話をして下さい。先輩のお話がロータリーに対する理解を深める一番の近道ではないかと思ひます。そしてこの方法が近道だとは思ひますが、それでも道は遠いです。焦らず、また厭うことなく繰り返すことにより近づくことが出来るのではないかと思ひます。

幹事報告 幹事 山本 順也



前年度の活動報告書お配りしています。

委員会報告 常泉委員長



江森 史郎 様 プロフィール

- ・1962年(S. 37年) 株式会社 資生堂入社 2年半 販売第一線
 - 1965年 本社 マーケティング、プロダクトプランニング
 - ・1972年～1976年 資生堂コスメティックスアメリカ駐在 現地生産化、情報収集
 - ・1976年～1985年 プロダクトプランニング
 - 1986年～1990年 資生堂ヨーロッパ 資生堂ドイツランド 販売責任者として駐在
 - ・1991年～1993年 経営改革の仕事
 - ・1994年～1995年 知的財産の仕事
 - 1996年～1997年 プロジェクトチーム(商品開発)
 - 1999年 正式退社 スコットランド クイーンマーガレット大学留学
- 商品企画の仕事 > 主なもの
 MG5 プラバス インウイ タクティクス 不老林 UVホワイト オイデルミン

メインプログラム



日本人のものづくりの源はどこにあるのか?

江森 史郎 様

「言語とアイデンティティ(日本人らしさのひとつ)の関係」

- ・私達が現在、何気なく使っている日本の文字は、“一体いつ頃できたのだろう”なんて普段考える事はありません。私達の祖先は、太古の時代お互いの意志疎通の為の言葉は使っていましたが、文字を持っていませんでした。
- ・一説によると今から2000年ぐらい前、中国から漢字を輸入したと云われています。今、当たり前のように「漢字」と「かな文字」を混用していますが、長い時間をかけて独自の文字をつくりました。それが「ひら仮名」や「かた仮名」です。(6世紀頃)
- ・漢字は真名(まな)と言われており、本当の字?に対して、仮の名としたのが「平仮名(平かな文字)」「片仮名(簡単な文字)」としたのではないのでしょうか。
- ・何故「2つの独自の文字」を考えたのか?その理由は、漢字は画数の多い文字が多い為「簡略化、省略化」し、文字を早く書けるようにしたのではないかと推測します。そして、その事に長い時間をかけて来たと考えられます。例えば 安→あ、ア→ず、ス→せ、セ→め、メ→も、モなど
- ・その国の(日本)文化の原点はその国(日本)の言語です。私達の祖先は、文字を短く簡略化することで表現し易くし、コミュニケーションも迅速となりました。考え方にも影響を与えるので、モノづくりの発想に当然影響を与えます。具体例を挙げると俳句、川柳などは、世界で最も短い詩歌です。和歌もそうです。長歌もありますが日本人の間でも余り普及していません。

日本人のモノづくりの美意識

(歴史・伝統・風土・思想・遺伝子(DNA))

Small(compact, petit, mini, toy) is Beautiful



- 千利休の茶室、俳句、短歌、盆栽、幕の内弁当など。
- 21世紀のナノテクノロジー(1mmの百万分の1)のモノづくりには有利となる。(ナノパブル、ナノパウダー、ナノウォーターなど) 高付加価値化(食、デザイン分野)
- しかし外向き(外に出る)は苦手。グローバル化、国際化、情報化が促進される。21世紀には様々な分野で異なる人々とのコミュニケーションと共同作業が不可欠となる。
- 外に出て働くか、国内で外国人と共に働くかの選択。ベースボールプレイヤー・サッカー・ゴルフなどスポーツプレイヤー・NGOの人達 企業内・学校・デザインオフィス・音楽・芸能分野など、そんな時この資料は役立つかも.....

軽、薄、短、小を代表する言葉と商品

1. 「軽薄短小」を特長とした商品
 - ・デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ ・レコーダー
 - ・携帯電話など
 - 年々高度の技術を開発し進化している
 2. 「軽」 軽自動車 イチローのスパイク(130g)、競泳用水着
 3. 「薄」 薄塩じゃがいも(スナック)、薄口醤油、薄型テレビ
 4. 「短」 インスタントラーメン、カップヌードル、宅急便など
 5. 「小」 小型ヘリコプター、2016年東京オリンピック、電子ピアノ
 - 商品 ・小梅ちゃん、小春ちゃん、小夏ちゃん(ロッテのキャンディー)
 - ・小枝(森永のチョコレート)
 - ・小さなお菓子(東ハト セブンイレブン、ローソン等のコンビニPB)
 - ・納豆パック、小粒、極小(多くのメーカー)
 - ・小型バッテリー
 - ・秋田小町(JAの秋田産のお米) ・ひと口羊かん、まんじゅう
 - ・ステレオコンボネット
 - ・無線で飛ぶ薬品散布、種まき用小型ヘリコプター、小型田植機、除雪車、指輪、アクセサリ、日本人の好みの犬種(1kg~10kgまで小型犬)
- 人の名 ・小野小町 ・小雪(女優) ・小朝、小さん(落語家)
 ・小錦(力士) ・一寸法師 ・かぐや姫 など
- 言葉 ・小綺麗 ・小悪魔 ・小間切れ ・小粋 など
6. 「薄」 金箔、カンナくず、うるし塗
 7. 「折」 折り紙、紙飛行機、扇子、折りたたみごうもり、着物、布団 (扇子は平安時代に日本で発明されたもの) 衛星のパラボラアンテナ
 8. 「細」 極細ボールペン、シャープペン、極細ラーメン、カテーテル、注射針 シュレッダー(日本のメーカーが開発)、ポッキー極細
 9. 「縮」 ふとん圧縮パック、扇子、縮染め
 10. 「除」 除菌、除臭、除湿のトイレタリー商品
 11. 「曲」 ストロー(曲がるものは日本のメーカーが開発)、超小型スプリング
 12. 「減」 減塩醤油
 13. 「巻」 のり巻、巻寿司、着物の帯、おみくじ
 14. 「静」 電気掃除機、冷蔵庫、エレベーター、騒音防止板、家の防音装置
 15. 「握」 にぎり寿司、おにぎり
 16. 「淡」 ビール、焼酎、淡い色(桜の花弁など)
 17. 「分」 カッターナイフ(日本のメーカーが開発)、分冊本
 18. 「消」 消臭スプレー
 19. 「微」 微糖缶コーヒー、微賦香化粧品
 20. 「削」 鯉ぶし、とろろ昆布、かき氷
 21. 「収」 収納ケース
 22. 「擽」 お酒 豆腐
 23. 「量」 茶ぶ台、屏風(びょうぶ)、布団
 24. 「狭」 渋谷のデパート109、1坪~2坪の店舗 日本の家屋(アパート、マンション、一軒家)

幕の内弁当の構造と美学—Small is beautiful

1. 美しい造型—オシャレであること
美を第一義の機能とみなす美意識
 2. 欲深い機能—多重の楽しみを叶える機能観
 3. 創造を誘う装置—誰にも作れ、誰にも味わえる大衆性
 4. たしかな原型—たしかな原型は確実な評価を深め作法を生む
 5. 多様の統一—何でも入れ込めて美しくまとめられる秩序観
 6. 摂取不捨—どれもが生きる相乗効果
 7. 楽しみ開発—新しい楽しみ方の型を生む開発性
 8. 臨機応変—タイミングよく求めに応じたままに合わせられる
即応性
 9. 無駄のない文化—新しい生き方の術に叶う価値観の発見
 10. 親切の極意—豊かなものはサービス精神の極意から生まれる
- 本、「幕の内弁当の美学」より
 栄久庵憲司 著

ニコニコ・Sorry

齋藤会長・山本幹事

江森様、今日は大変ためになるお話をありがとうございました。

赤星会員

不良会員ですみません。今年も宣教お願い致します。

江森 史郎 様

ご清聴に感謝致します。

出席報告 前回回 65.9% 本日出席 31 名 欠席 11 名 出席率 73.8 %